

役場前交差点 改良工事は住民合意を前提にすべ

3月定例会の一般質問（3月6日）で西澤議員は、役場前交差点改良が完成しないままになっている状態を質しました。その中で、交差点南側の立ち退き問題（補償など）の協議が合意に達しないまま、北側だけ先行して着工していた疑いが判明しました。その一般質問を要約して紹介します。

ある町民から 役場 摘し、町の対応も甘前交差点の改良工事、かつたのでは、と追いつまでかかっている 及。
町長は、行政不
を聞いたことから、現 一致」を認めながら
状と今後の見通しを質 終わったこと」な
しました。

担当課の答弁によれば、昨年8月に一度、立ち退き対象は社
地元協議を行っただけ 務所、大鳥居、太鼓
であることが判明。 倉、樹木など大掛か
西澤議員は、交差点 りな工事です。
南側の神社関係者な 今後、県・町は真
ど、地元区との合意が 撃に反省し、住民合
成立していないにもか 意を尊重し、誠実に
かわらず、北側の着工 対応しなければなら
したのは間違いだと指 ないと思います。



地方から「戦争準備のための大軍拡やめよ」の声 大きく
統一地方選挙の後半戦も投票日を迎えます

た。日本共産党は、この選挙戦で福祉施策や子育て支援の拡充と共に、安心して暮らすには平和が一番！」大軍拡やめて、戦争しない外交努力を」などと訴え、各地で大奮闘。
彦根市議選では大激戦、そして豊郷町では、みんな住みやすい豊郷町をつくる会」のみなさんによる町政刷新の選挙戦に注目。
岸田政権は 安保3文書」の閣議決定で、憲法9条を壊し、敵基地攻撃能力の保有を可能にしようとする暴走を強行しています。地方から大軍拡NO！」の力を強くするため日本共産党を大きく！

9条は合理的な安全保障

今回の岸田政権の敵基地攻撃能力の保有と大軍拡は、事実上の憲法9条の破壊だと考えています。
安倍政権が、教育基本法改悪や秘密保護法施行、それに安保法制を施行したとき、自分の生きてきた世界が、足元から崩れていくような感覚に襲われました。特に安保法制をめぐっては、憲法の解釈を一内閣が勝手に

神戸女学院大学准教授 景山 佳代子さん

に変えてしまう。前例」をつくらせたことが問題でした。国会も議論も軽んじる政権によって、民主主義への信頼は大きく損なわれました。アこうせ声をあげても無駄」というあきらめが、政治への無関心を一層加速させています。岸田政権も同じようなやり方で大軍拡を進めています。

戦争は「不平等の政治」だと考えます。より強い者の論理を優先し、より弱い者を切り捨てるのが当たり前に行われています。戦争は多様性や民主主義とは真逆です。そんな社会で一体誰が幸せに生きられるのでしょうか。
日本の人口動態、食料自給率、貿易統計などを冷静にみれば、米国防衛の軍拡競争への参加は、米国の国益にかなっていません。日本の国益にはなりません。日本がおかれている条件に照らせば、憲法9条は一つの合理的な安全保障策だと考えます。国際社会での日本の安全を保障するのは、軍拡ではなく、軍事力をもたない国際的に宣言する憲法9条を活用した平和外交です。（聞き手 若林明）



大軍拡 異議あり

甲良民報
2023年4月23日 881号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在土373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

▲「しんぶん赤旗」2023年4月20日より

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949
◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】